



令和3年度 市民講座Ⅱ



地学はおもしろい!

～知多のジオサイトを楽しむ～



ジオサイトとは、地球の営みやヒトの自然への働きかけなどが観察・体験できる場所です。「東海のジオサイトを楽しむ」の著者が、知多半島と周辺地域の大地の魅力とその物語を、分かりやすく解説します。

(詳しくは裏面参照👉)

日時 令和3年10月9日・11月13日・12月11日
(土曜日 全3回)

10:30~12:00

会場 中央公民館 視聴覚室

内容 裏面プログラム参照

対象 市内在住または在勤在学の高校生以上の人

定員 25名(定員を超えた場合は抽選とします)

※落選の人のみ 令和3年10月1日(金)までにご連絡します。

受講料 各回300円(資料代含む 毎回集金します)

講師 森 勇一 さん <東海シニア自然大学講師>

申込先 生涯学習スポーツ課 TEL 44-4600 FAX 43-8011

メールアドレス syogaisports@city.tokoname.lg.jp

メールでの申し込みは①氏名(ふりがな)②住所③年齢④連絡先を明記してください。

申込期限 令和3年9月30日(木)

問合せ 生涯学習スポーツ課

※参加できる人には連絡をしませんので、当日忘れずに会場にお越しください。



き-り-と-り-せ-ん



令和3年度 市民講座Ⅱ

「地学はおもしろい!」

受講申込書

氏名		年齢	歳
住所			
電話			

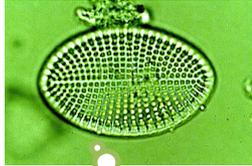
※個人情報については、この講座以外では使用いたしません。





プログラム



日 程	テーマ・内容	講 師
<p>第1回 10月 9日(土) 10:30~12:00</p> 	<p>「な、なんだ！内海海岸の石」 ひと抱えもある巨大な丸い石。尾張の神様と伊勢の神様が力比べしたものとされてきた。 東日本大震災を経験してはじめて、「津波石」と世に知られるようになった。巨石を運んだ津波の力と地質時代の知多の海について考える。</p>	 <p>森 勇一 さん 東海シニア自然大学講師</p> <p>*プロフィール*</p>
<p>第2回 11月13日(土) 10:30~12:00</p> 	<p>「焼くや もしおの身も焦がれつつ」 ゆかりセンベイに似た土のかけらは、東海市松崎遺跡から見つかった塩をつくる土器の破片。 日本で初めて古代の製塩法を解明した筆者が語る苦勞・苦勞の物語。そして、科学する面白さ。</p>	<p>1948年名古屋市生まれ。三重大学大学院生物資源学研究科博士課程修了。博士（環境史学・古生物学）。愛知県立津島高等学校教諭、愛知県埋蔵文化財センター課長補佐、国際日本文化研究センター共同研究員・同客員准教授、金城学院大学などを経て、現在東海シニア自然大学・名古屋市高年大学・NHK文化センター講師として活躍中。</p>
<p>第3回 12月11日(土) 10:30~12:00</p> 	<p>「牛が沈み 砂の柱が立った」 1944年東南海地震では、田んぼにいた牛が首まで沈んだという。佐久島海岸に見られる世にも不思議なくにゃぐにゃの地層。いずれも地震に伴う液状化災害の一つである。液状化のメカニズムを追及する。</p>	 <p>製塩土器から検出された 海藻附着珪藻</p>